

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	389100091
法人名	株式会社 廣島屋
事業所名	グループホーム愛
所在地	愛媛県四国中央市土居町上野乙156-2
自己評価作成日	平成 24 年 1 月 10 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成24年2月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の方とスタッフとの間がゆっくりおだやかに時間が流れ、入居者の方の笑顔が増えるよう支援するよう努めています。近隣の保育園との交流も増え、入居者の笑顔につながっています。訪問看護ステーションや医療機関との連携が取れるようになり、安心した生活が送れるようになりました。今年度から歯科の定期的訪問も取り入れました。日々重度になられる利用者の方にもきめ細かい介護の提供ができる環境が整ってきています。看取りを経験したことで、スタッフの意識向上に繋がっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「笑顔」「思いやり」「尊敬」「信頼」を運営理念に、利用者が落ち着いた生活が行われるよう日々のケアに取り組んでいる。ターミナルケアを行うために、医療連携体制を整備し医療機関の協力を得ながら、職員全員で取り組んでいる。また、関係者や家族とよく話し合いながら利用者本位のターミナルケアが行えるよう努めている。「自分の親を看るような気持ちで利用者に接してほしい」と代表者は職員に希望し、職員も愛情を持って接しており、利用者は笑顔で穏やかに過ごせている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	グループホーム愛
(ユニット名)	
記入者(管理者)	
氏名	真鍋芳恵
評価完了日	平成 24 年 1 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 笑顔、思いやり、尊敬、信頼という事業所の理念のもと、住み慣れた地域で誰にでも訪れる老いを助け合っ て生き、スタッフ全員で入居者を支え地域の中でその 人らしく生活して頂けるようケアの向上に日々努めて いる。</p> <p>(外部評価) 開設当初に職員全員で話し合い作った理念を現在も受 け継ぎ、代表者の思いを共有し、日々利用者に対する 心構えとして実践されている。短い言葉の理念である ため、より具体的にするため、ケア理念を新たに見直 す予定である。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続け られるよう、事業所自体が地域の一員とし て日常的に交流している	<p>(自己評価) 近隣の保育園の園児にホームの敷地を開放し利用して 頂いている。毎朝の園児たちのあいさつにより入居者 も喜ばれている。また近くの店に入居者と買い物にで かける機会も増えてきた。</p> <p>(外部評価) 近隣の保育園との関係は継続され、園児との交流は利 用者の楽しみになっている。事業所が毎年行ってきた 観月祭を昨年は開催する事ができなかったが、地域 の方も楽しみにしてくれている行事なので、今年は取り 組めるよう計画している。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認 知症の人の理解や支援の方法を、地域の 人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 地域の一員としてあたりまえにある家と思っ ていただけのようにケアの実践をしてきましたが、今後はそれ を生かした地域貢献できる取り組みも考えていきたい。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議では、日頃の活動報告やサービス評価の報告を行ったり、今年度は事例検討や看取りに関する事も議題にあげ貴重な意見やお話を伺うことができた。	
			(外部評価) 毎回会議の内容を工夫し、家族代表の体験談を事例として議題にしたり、事業所のターミナルケアの取組みを参加者で検討する等、出された意見をサービスの向上に活かしている。できるだけ多くの地域の関係者に参加してもらうための取組みが計画されている。	地域の関係者に地域密着型サービスの意義を理解してもらい、会議に毎回出席してもらうような取組みに期待したい。また、議題によって参加者を変更する等工夫し、できるだけ多くの方に参加してもらえるよう、現在考えている計画が実行されるよう望みたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市担当者との連絡を密にとりより良いケアサービスに繋がるようにしている。地域包括センターの職員にもいつでも意見を聞ける関係にある。	
			(外部評価) 運営推進会議を通じて地域包括支援センターや市担当者との情報交換をしている。会議で利用者の状況や取組みを報告し、意見や助言を受けている。困難な事例に関して地域包括支援センターに相談したケースもある。今後、市担当者との積極的な関わりを持ち情報収集したいと考えている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全員が身体拘束について理解しており、スタッフ間でどのような時、どのレベルが身体拘束にあたるのかを共有している。	
			(外部評価) 玄関等の施錠はしていない。敷地内の畑仕事や散歩等職員と一緒に自由に出かけている。家族からつなぎ服を使用して欲しいと希望が出たこともあるが、身体拘束にあたるため職員全員で使用しないよう取り組んだ。ベッド柵の使用は家族の同意を得て、経過をみながら細かく記録し、状況に即したケアを心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待はあつてはならないことと捉え、スタッフ一人ひとりが意識してケアにあたるようにしている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今のところ制度を利用する対象の方はいないが、今後必要となってくることも考え、権利擁護についての制度について対応できるよう学んでおくべきだと思う。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な時間をとり、できるだけ丁寧に説明を行い、理解、納得ができるように努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議の参加やそれ以外でも入居者家族の意見要望を聞くようにつとめている。	
			(外部評価) 花見や観月祭を兼ねて家族会を行い、職員や地域の方との交流の場となっている。家族の訪問時には職員は近況報告をし、意見や要望を聞くようにしている。毎月の請求書と一緒に行事の写真や近況報告を家族に送付し、関係づくりに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 管理者は、スタッフからの意見を出しやすいように議題を提起し、カンファレンスで自由に意見交換できる場になっている。また日々の会話のなかで出た案や思いを代表者に伝え働く意欲やサービスの質の向上につなげている。</p> <p>(外部評価) 職員の意見や提案は、管理者を通じて代表者に報告している。少人数の事業所でターミナルの実施、給与アップ、シフト希望等、運営に関する事も職員会議で代表者も交えて話す機会がある。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) スタッフの勤務状況を把握し、できるかぎり反映している。また良い職場環境になるように努めている。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 本人に合った研修や希望する研修の参加を勧め個人のスキルアップを図るようにしている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 愛媛県地域密着型サービス協会や、市のグループホーム交流会など、同業者と交流できる機会を利用し、積極的に交流していきたいと考えている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 事前面接や関係諸機関への問い合わせなどを行い、ご本人の意向や要望を傾聴しケアに反映できるよう関係づくりに努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事業所とご家族がお互いに十分に説明、話し合いをする場を大切にしている。得に事業所に対する要望をよく聞き良い関係が作れるように努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人やご家族の話を傾聴し、精神面、身体機能など合わせてその方の環境も考慮して最良と思われる選択を提案するようにしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 自ら全介助を望む入居者のかたも居られるが、「してあげる」的な感覚は持たず「共に行う」といった平等、共同の想いでケアすることを常に念頭において支援している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には入居者の生活状況などをお伝えし、家族の方と 생각이共有できるよう情報交換して関係づくりに努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人やご家族との会話を通してご本人の大切にしたい馴染みの人や場所について理解するようにしている。居室にもなるべく馴染みのものを持ってきて頂くようお願いし、面会時間も制限せず、いつでもご家族や馴染みの方が気軽に来て頂けるようにしている。 (外部評価) 時間の経過と共に、馴染みの場所に出かける事は少なくなってきたが、入居当初から、友人や家族の訪問は毎月あり、落ち着いた生活を送っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 時折りビングの様様替えを行ない座席の配置が固定しないようにしたり、トラブルが起こりそうな時はさりげなく回避できるよう努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他の施設に移られた方の情報提供は行っている。また必要に応じて面会にも出掛けている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のかかわりのなかで入居者の話や、しぐさ、表情などから想いを汲み取り、少しでも実現できるよう努めている。 (外部評価) 職員は利用者一人ひとりと時間をかけて関わり、利用者の様子を介護記録に細かく記録し、毎月のカンファレンスで意見を出し合い情報を共有している。ケアマネは介護計画の更新時にはその都度、状態把握の記録の書き換えを行っている。家族の訪問時に管理者やケアマネが希望や要望を聞き取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時ご家族にアセスメントシートを記入してもらったり、担当の居宅介護支援事業所に情報を提供してもらい入居後はご本人からも話を聞くなどこれまでの暮らしの把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日常の生活の記録を活用しその方の生活のリズムを知り一人ひとりの過ごし方や心身状態、持っている力を把握するようにしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ご家族や医療機関からの情報などアセスメントに基づいて入居者が抱えている課題をカンファレンスで話し合うようにしている。またご家族からの意見も聞くようにしている。 (外部評価) 職員各自が気が付いた事があれば事前に記録しケアマネに提出し、毎月のカンファレンスでサービス内容について検討している。計画の内容は家族に説明している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別記録には日々の行動だけでなく特記すべき言動なども記録し、スタッフ間で情報を共有している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 入居者やご家族の意向を聞きながら通院や外出の支援を行っている。今年度はホームから他病院のデイケアを利用する取り組みもはじめた。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 近隣の保育園や近所、地域の民生委員さん、またふれあい相談員さんなどの応援を得ながら地域のなかで入居者の方が暮らしを楽しめるようにと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 入居者、ご家族の希望を第一に、以前からのかかりつ け医への受診の援助や情報提供を行っている。協力病 院の定期的な往診や、内科だけでなく歯科、整形外科 など他科の受診も行っている。 (外部評価) かかりつけ医への通院介助は原則、家族にお願いして いる。協力医療機関の毎月2回の往診や24時間体制 の訪問看護と連携し、利用者の健康管理を行って いる。インフルエンザ等の予防注射は毎年行っている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 医療連携している訪問看護ステーションとは、連絡、 相談など密に取り合いながら、入居者の健康管理に取 り組んでいる。いろいろなアドバイスを頂くことで、 スタッフも安心して、ケアにあたっている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時は情報を提供するように努め、場合によっ ては、病院に出向き、担当者と話をしたり円滑に情報の やりとりができるよう努めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 看取りを希望されるかたがおられたため、カンファレ ンスや医療機関との話し合いや運営推進会議でも意見 を求め、時間をかけ取り組んだ。なお一層スタッフの スキルアップが必要になってくると考えている。 (外部評価) かかりつけ医や協力医療機関と連携しながら、ターミ ナルケアに取り組んでいる。利用者との契約で24時 間の訪問看護と在宅医療を利用し、介護スタッフと協 力して利用者のケアにあたっている。家族には事業所 でできることを十分説明し、協力してもらいながら支 援に取り組んでいる。	ターミナルケアを希望している利用者や家族が安心し て納得した最期を迎えられるように、経験を活かし事 例検討会や研修会等を行い、職員全員が理解と意欲を 持って支援することができるよう、さらなる取組みに 期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時の手順などわかりやすい場所に掲示し、常に念頭に置くようにしている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は定期的実施している。今年度も運営推進会議の委員の方にも参加していただいた。火災だけでなく地震への対策も考えていく課題だと思う。 (外部評価) 年2回避難訓練を行い、緊急通報装置や消火器の使い方等研修している。スプリンクラーの設置、非常ベルの設置等で非常時に備えている。	火災や地震、風水害等いろいろな場面を想定し、利用者が安全に避難できる方法を職員で話し合い、具体的に行えるようマニュアル化し、定期的に自主訓練等行うよう検討することを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) なにげない日常会話のなかにも入居者の自尊心を傷つけてしまうことを意識し、注意をはらうようにしている。また個人情報の保護に関しても徹底するようにしている。 (外部評価) 個人情報の取り扱いについて十分配慮している。声かけ等の対応の仕方も、利用者一人ひとりに優しく静かに話しかけており、利用者は落ち着いて生活できている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 入居者ご自身がどうしたいのかをまず伺い、できるだけ希望に添えるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入居者一人ひとりのペースを大切にし、穏やかな生活が送れるよう支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 入居者の好みや今までの生活の延長として個々に応じて身だしなみやおしゃれができるよう心掛けている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 玉ねぎやじゃがいもの皮むきなど、できることをして頂いている。テーブルを拭いたり下膳などの後片付けもできる方は一緒にしてくれている。	
			(外部評価) 利用者の希望に添ったメニューにしている。希望を聞き取り、その日のメニューを変更する事もある。また、畑で採れた食材を使ってメニューに加える等、食事が楽しみの一つとなるよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスのとれた食事を提供できるように心掛けている。入浴後の水分補給や夜間自室にお茶をおいたり充分水分摂取ができるよう支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ご自分でできる方は毎食後声かけを行い介助が必要な方はスタッフが介助している。今年度から毎週歯科衛生士が訪問して下さるようになり、口腔ケアをしてくださったり、スタッフに指導もしてくれる。必要な方には歯科医師が往診してくれるようになった。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄表を活用し、時間誘導や入居者のタイミングに合わせて支援するように心掛けている。気持ちよく排泄できるように可能な限りといれでの排泄を支援している。	
			(外部評価) 利用者の重度化によりおむつの使用者が多い。利用者の状態に合わせて無理のない支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質のある食べ物を摂って頂いたり、水分摂取に心掛けている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 2～3日の間隔で入浴している。気持ちよく入浴して頂けるように声掛けの工夫や、一人ひとりに応じたタイミングを計るなど対応している。	
			(外部評価) 週2～3回入浴できている。時間やタイミング、声かけの仕方等工夫して、利用者のペースで気持ちよく入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) その時々に応じて、一人ひとりの気持ちを尊重し、安心して休息や睡眠を取れるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤情報をファイルし、スタッフは周知するように努めている。服薬の仕方も一人ひとりに応じ支援するようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 畑作りや、音楽、手作業など、生活に張り合いや、喜びを感じて頂けるように一人ひとりに応じた楽しみごとや役割を探りお膳立てできるように努めている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日の希望にはなかなか副えないところもあるが、できるだけ戸外へ出かけられるよう支援している。またご家族のかたにも協力して頂いている。	
			(外部評価) 家族との買い物や職員との外出等、戸外に出る機会を設けたり、年間行事計画を作成し、利用者の身体状況を考慮しながら菖蒲園や別子銅山等に出かけるようにしている。広い敷地と静かな環境があり、日常的に外気に触れる機会を持つように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ほとんどの方が金銭管理は難しいが、お金のことを気にするかたにはその都度説明し理解して頂けるよう努めている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 入居者の希望に応じその都度対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 車椅子での生活も十分な広さの確保できるように工夫している。ダイニングの窓からは外の景色がよく見え四季を感じることができる。また季節を感じて頂けるように壁画の作成も入居者共に行っている。</p> <p>(外部評価) 豊かな自然に囲まれ、緑も多く静かな環境にある。トイレや脱衣所、浴室が広く、車いすの利用者も楽に使用することができる。事業所の建物は平屋で、リビングや居室は日当たりがよい。庭を行き来する近隣の保育園の園児にリビングから手を振ったり、声をかけたりできる環境がある。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) 座席の工夫や、その方や時々に応じた誘導を心掛けている。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 使い慣れたタンスや仏壇、テレビなどもあり入居者の好みのディスプレイをし快適に過ごせるようにこころがけている。</p> <p>(外部評価) エアコンやベッド、クローゼット、整理ダンスが設置され、衣服等がきちんと整理されている。家族の写真や自分で作った作品を飾り、馴染みのものに囲まれて落ち着いて生活ができるよう居室づくりがされている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) トイレや浴室など入居者の混乱がないよう表示したり、フロアも安全に生活できるようにしている。</p>	